

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和7年度 第2回入間市こども・子育て審議会
開 催 日 時	令和7年8月1日(金) 午前10時00分 開会 午前12時00分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 B棟5階 全員協議会室
議 長 氏 名	千葉弘明
出席委員(者)氏名	渡辺雅智、宮島千秋、千葉弘明、桂川泰典、三田侑希、生田由紀子、 新井啓子、村野裕子、吉野しずな、遠藤梨奈、土橋秀子、岡橋生幸、 西澤弥生
欠席委員(者)氏名	高橋洋貴、大森洋司
説明者の職氏名	こども政策室長 岩田孝弘、こども支援課長 園田智慈、 保育幼稚園課長 上野順一、青少年課長 宮岡弘
会 議 次 第	1 開会 2 委嘱状交付式 3 市長あいさつ 4 委員自己紹介 5 事務局職員紹介 6 会長・副会長選出 7 会長・副会長あいさつ 8 議題 (1) こども・子育て審議会の所掌事務について (2) こども支援部概要について (3) 入間市こども計画について 9 その他 10 事務連絡 11 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	資料2-1-1 入間市こども・子育て審議会について 資料2-1-2 令和7年度こども・子育て審議会スケジュール 資料2-2 令和7年度こども支援部事業概要
事務局職員職氏名	【こども支援部】 部長 黒木聡子、次長 豊泉兼一 【こども政策室】 室長 岩田孝弘 【こども支援課】 課長 園田智慈、主幹 根本章、 副主幹 橘内明子、主事補 山口佳奈 【保育幼稚園課】 課長 上野順一 【青少年課】 課長 宮岡弘
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

委員委嘱を行った後、会長及び副会長を選任した。

会 長：千葉弘明委員

副会長：土橋秀子委員

- 1 下記の議題について事務局が説明し、審議を行った。
委員からの質疑については、事務局が回答した。

議題

- (1) こども・子育て審議会の所掌事務について
- (2) こども支援部概要について
- (3) 入間市こども計画について

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)
千葉会長	本日の議題に入る。今回の会議録署名人は渡辺委員にお願いする。
	(1) こども・子育て審議会の所掌事務について
千葉会長	「こども・子育て審議会の所掌事務について」を議題とする。事務局から説明願う。
こども政策室長	「こども・子育て審議会の所掌事務について」、資料に沿って説明する。 (資料2-1-1～資料2-1-2に基づいて説明)
千葉会長	今回は、第1回は前任期の組織で行い、第2回から新たな任期の組織になった。今後もし継続審議になった場合に、支障をきたさないよう検討していただきたい。
こども政策室長	任期をまたいで継続する議題がある場合には、新しい委員へ向けて内容を説明した上で審議をさせていただく予定である。
千葉会長	他に質問はあるか。 (特になし)
千葉会長	それでは、議題(1)「児童福祉審議会の所掌事務等について」は以上とする。 (2) こども支援部概要について
千葉会長	次に、「こども支援部概要について」を議題とする。事務局から説明願う。
こども支援課長 保育幼稚園課長 青少年課長	「こども支援部事業概要について」、資料に沿って説明する。 (資料2-2に基づいて、所管課課長がそれぞれ説明)
千葉会長	17ページの保育所等訪問支援の表は、「延べ利用児童数」でよろしいか。
事務局	そのとおりである。

発 言 者	発 言 内 容
岡橋委員	20ページの「⑦待機児童数」の表では、令和6年度の待機児童数は8名とあり、「⑥入所の状況」の表では、令和6年4月1日現在の充足率80.76%と定員に対して実数がだいぶ少ない。待機になっている理由について保育士不足と説明があったが、保育士不足により実質定員が下がっているという解釈でよいのか。
保育幼稚園課長	充足率については、全クラスの定員に対する在園児を指す。3歳・4歳・5歳児については幼稚園を選択する家庭もあるため、例えば5歳児で25人入れるところ、20人や10人しかない施設もあり、在園児童数が定員以下の状況である。一方で、0・1・2歳については幼稚園では預かってはいないため、定員がほぼいっぱいになっているという状況である。 また、保育士不足の原因については、給料面で東京都へ流れてしまっている。例えば公立の場合、5歳児であれば保育士1人につき25人預かることができるのに対し、1歳児は4人しか預かることができない。保育士がいないと預かることのできる人数が減ってしまうため、1歳と2歳児についてはどうしても待機児童が発生してしまう。よってこの充足率については、大きい年齢では空きがあるが、逆に小さい年齢は空きがなく、待機が発生してしまうという二面性がある。
千葉会長	3歳以上については定員が充足していないが、3歳未満児では非常に待機児童が多いことが課題になっているというご説明だったと思う。
岡橋委員	地域的に0・1・2歳児が多く、超過している地域で待機が起こっているという解釈でよいのか。
千葉会長	地域というより社会全体での話であり、加えて保育士不足も関連している。
岡橋委員	園児の年齢別でデータを見ていかなければいけないということか。
千葉会長	その通りである。
岡橋委員	令和6年度の8人の待機児童について現況はどうなっているのか。
保育幼稚園課長	後追い調査によれば、知り合いや祖父母に預けるなどして対応しているようである。待機児童のうち求職中が多い。今働いている方は点数が高くなってしまうためである。
千葉会長	こども家庭庁から出ているような年齢別の充足率を教えていただくとより分かりやすいと思った。保育に関連して、現場の委員から何かご意見あるか。

発 言 者	発 言 内 容
渡辺委員	確かに自身の保育園でも保育士が足りていない。定員数に対して預かる職員数はいるが、「気になる子」に対して加配の職員を充てなければいけない。4・5歳児は25人に対し保育士1人の配置基準ではあるが、実際は2人担任でないとまわらないのが現状である。時代と共にいろいろな研究が進んでいく中で「気になる子」が顕著に増えてきているため、どうしてもそちらに手をかけなければいけなくなっている。保育士は足りてはいるが、加配のために、他のクラスに手が回らず、結局こどもが受け入れられない現状が一部ではあると思う。
千葉会長	「気になる子」の保育に携わるとこどもの受け入れが難しいという状況があると思うが、何か対策はしているか。
保育幼稚園課長	文部科学省の調査でも、小学校に上がっても発達に遅れはないが、なかなか授業を受けられないこどもが増加をしているという結果が出ている。市でも加配保育士に対する補助金の用意はあるが、足りているか課題となっている。また、令和5年から「気になる子」に対しての支援の手法を公立保育所の職員が学びながら実践をしている。こどもの数は減っているが支援の必要なこどもは増えているという状況の中で、市としても悩みながら進んでいる。
千葉会長	次に、「入間市こども計画について」を議題とする。事務局から説明願う。
こども政策室長	「入間市こども計画について」、資料に沿って説明する。 (資料2-2に基づいて説明)
岡橋委員	こども計画で何をを目指しているのかについてだが、19ページの基本理念「全てのこどもが健やかに心豊かに育ち」の「健やかに心豊かに育っている状態」とはどういう状態を指すのか。
こども政策室長	抽象的な言葉ではあるが、将来性を持って、夢を持って育ってほしいというイメージで捉えていただきたい。
千葉会長	児童福祉法等の理念にも通じてくると思うが、まずこどもが健全に育んでいける社会という1つの目標と、こどもの権利を擁護していく社会を作っていくために、このこども計画は作られたと理解している。
岡橋委員	75ページの4つの計画全体の成果指標のうち、「生活に満足しているこどもの割合」というのは分かりにくい。その指標の値の根拠となる98ページのアンケート調査の質問において、「十分満足している」の反対は「とて

発 言 者	発 言 内 容
こども政策室	も不安」ではないかと思われるため、「まったく満足していない」という言い方では感覚的に分かりにくい。 また、この現状値と目標値がともに71.2%で同率になっている理由として、国の目標値を既に達成しているから現状維持にしたと記載があるが、問題はないのか。アンケート調査で、6以下と回答したこども達はこの数値を見て、自分は外されていると思わないのか疑問である。 加えて、計画全体の成果指標のうち、「地域の子育ての環境や支援への満足度」は5段階評価というのも分かりにくい。 ある程度の到達点を数値で示したものである。
千葉会長	この指標はこども大綱の中で示されており、全市町村がそれらを基準にしているが、分かりやすさという点では、これまでの審議会でも議論したところである。アンケート調査をやり直すことはできないが、次の計画策定時には岡橋委員の意見を踏まえながら検討していくとよいと思われる。
岡橋委員	アンケート調査が全国共通で、75ページの指標は入間市独自で設定したということか。それとも、75ページの指標も全国共通なのか。
こども支援課長	調査自体は国が示している内容で統一的なものではあるが、市町村ではそれらをアレンジしてもよいこととなっており、このアンケート調査は国の内容に倣って実施した。この71.2%という値については、国の目標値は70%となっているが、入間市は既に71.2%で達成しているため、引き続きこれを維持しようということで目標値とした。国では複数の調査をやることにはなっているが、このうち入間市としてどれを大切にしていけるべきかを昨年度の児童福祉審議会でご意見いただき、その中で代表としてこの4つがよいのではないかと我々が提案した上でご審議いただき、ご承認いただいた。調査自体は国の一律で、その中から入間市として選んだものがこちらの4項目というイメージである。
岡橋委員	わかりました。
千葉会長	今回より新たな委員が加わった。今後のこども計画のためにも活発に意見を出して行ってほしい。他に意見がないようなので、議題(3)「入間市こども計画について」は以上とする。
土橋副会長	以上で閉会とする。

議事のてん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 7 年 11 月 4 日

議 長 の 署 名

千葉 孔明

議長が指名した者の署名

渡辺 雅智